



ミディアムLCDスピードメーター α エイブ50/100用 取扱説明書 商品番号09-01-0062

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

☆注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

☆警告

- この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行ってください。

◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

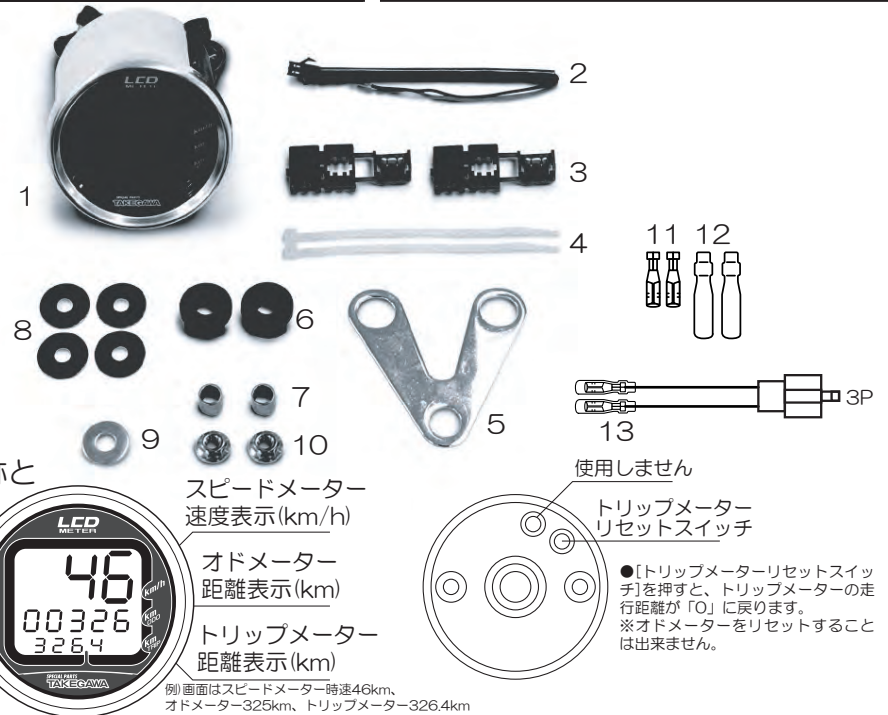
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

○走行速度表示機能について

- ・LCDスピードメーターはSTDのメーター同様、メーターケーブルの回転速度をもとにスピードを表示する仕組みになっています。そのためスピードメーターケーブルの無い(電気式でホイールの回転数を測定している)車両では使用できません。
- ・運転者に注意を促す速度警告灯付きの車両に取り付ける場合、スピードメーター変換後はその機能がなくなりますのでご注意ください。走行中は法定速度を守り安全走行してください。
- ・オドメーター機能(走行距離計)
- ・最高表示速度は、250km/h。

商品内容

番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1	ミディアムLCDスピードメーターα	1	8	ワッシャーA 5×18×1.0	4
2	電源用配線	1	9	ワッシャーB 6×16×1.6	1
3	エレクトロタップ	2	10	六角フランジナット	2
4	タイラップ	2	11	メスギボシ	2
5	メーターマウントステー	1	12	スリーパー：メス	2
6	クッションラバー	2	13	Fエイブ用キーON電源サブコード	1
7	メーターマウントカラー	2	14	取扱説明書	1

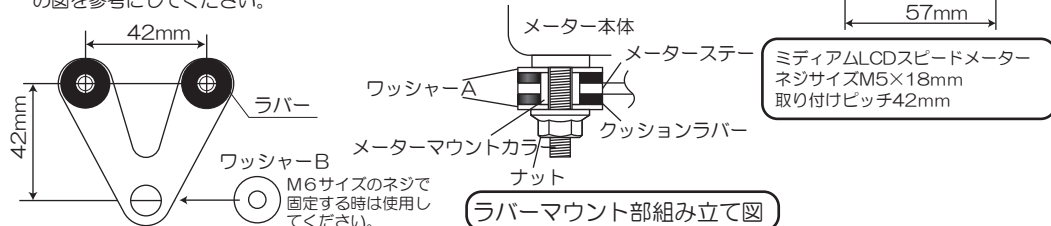
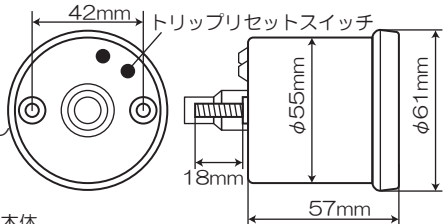


ご注意ください

- ◎液晶の性質として、長時間、直射日光を受け続けると痛みが発生してしまいます。
なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やしてください。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けてください。
- ◎本製品は完全防水ではありません。
湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。
- ◎バッテリー、プラグ、配線の状態(取り回しや、接続状況)によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。
バッテリー状態の悪い車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時などに一瞬数値表示に乱れを生じ、メーター内部の電気信号が乱れ、間違った情報を表示してしまう可能性があります。
また、点火系ノイズの激しい車両でも同様です。
- 装着時は各部(特に配線、点火系、バッテリー)の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

① 本体の取り付け

- メーター本体を付属のメーターステーを使いスピードメーターケーブルの長さにも余裕のある位置に固定してください。
- ・ステー固定用の穴はM10サイズのネジが通るようになっています。ハンドルクランプなど見やすい場所に走行中外れたりしないようしっかりと固定してください。
- M6サイズのネジで固定する場合は付属の「ワッシャーB」を使用し固定してください。
- ・ラバースタンプ部の組み立て、メーター本体の固定に関しては右下の図を参考にしてください。



② 電源の接続

作動用に12V電源への接続が必要です。

- 赤色の配線を車輛の+電源配線に接続、黒色の配線をアース配線に接続または直接ボディーアースしてください。メーター側配線にφ3.5オスギボシを取り付けておりますので、車両側に付属のメスギボシを取り付け接続する事を推奨します。配線先の無い場合は付属のエレクトロタップを使用してください。

Ape50/100

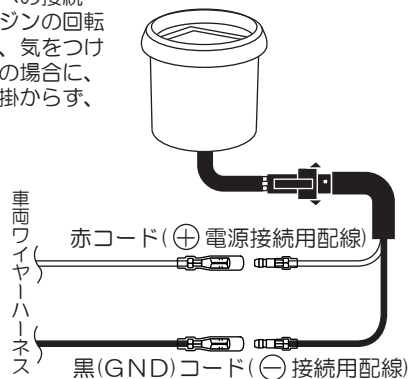
- ・エイプ50/100(バッテリーレス車両)でエンジン始動時に電圧の掛かる配線へ接続
エイプでは+電源配線は黒色、アース配線は緑色です。

- ・バッテリー付き車両でメインキーONで常時電圧の掛かる配線への接続
※バッテリー付き車両でも弱ったバッテリーを使用しますとエンジンの回転数が上がった時に高電流が流れメーターが壊れてしまいますので、気をつけてください。また、ライトのON、OFF付きの車両に取り付けの場合に、メーター照明などに接続しますと、ライトを消した場合に電圧が掛からず、メーターは作動しませんのでご注意ください。

各メーカーの代表配線色(※2)
+電源配線色 アース配線色

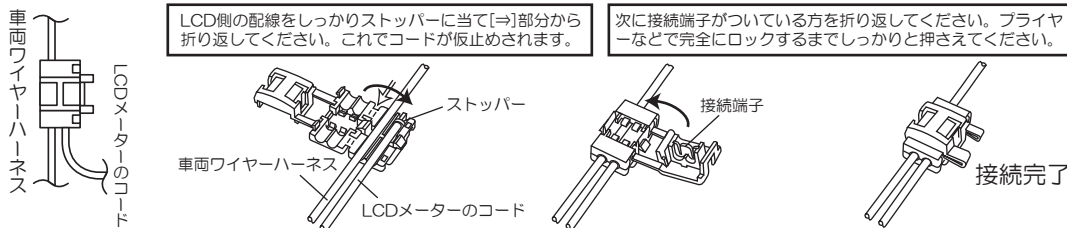
	黒	赤/黒	緑
HONDA			
YAMAHA	茶		黒
SUZUKI	橙		黒/白
KAWASAKI	茶		黒/黄

※2)車種によって(特に旧車)配線色の異なる場合があります。



エレクトロタップのご使用方法について

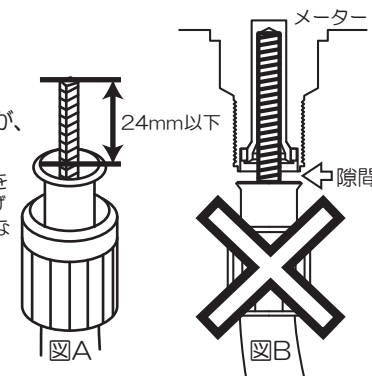
- 本商品の電源用配線(赤コード、黒コード)は先端部分にギボシを取り付けております。エレクトロタップを使用し配線を接続する場合はラジオペンチなどで切り落としてから行ってください。



③ ケーブル形状を確認してください。

本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

- ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。図Bのように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識できなくなってしまいます。



④ スピードメーターケーブルの接続

STDメーターに接続されているスピードメーターケーブルを外し、LCDスピードメーターに接続し直してください。

- ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めてください。
- ※走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けてください。
- 取り付け後も緩みがないか定期的に点検してください。



☆抵抗入りプラグを使用してください!!

- メーター安定作動の為にプラグは抵抗入りのものを使用してください。
- また、ハイテンションコードコード、プラグキャップもノーマルを使用してください。
- ノイズが原因でスピード表示に乱れが生じてしまう可能性があります。

◎バッテリー、プラグ、配線の状態(取り回しや、接続状況)によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。

バッテリー状態の悪い車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時などに一瞬数値表示に乱れを生じ、メーター内部の電気信号が乱れ、間違った情報を表示してしまう可能性があります。また、点火系ノイズの激しい車両でも同様です。

★ヘッドランプバルブやテールバルブの球切れにご注意ください。

エイプはヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと消費出来ない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブに負担を与えます。そのままにしておきますと過電圧で球切れを起こしてしまいます。LCDメーター内のLED夜間照明も電圧が上がった場合に過電流が起こり、そのまま使用し続けると、LEDの寿命が短くなるばかりでなく故障してしまう恐れがあります。ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチはOFFにすると上記同様バルブ切れの状態になりますので絶対に取り付けないでください。

— アイドリング回転数にご注意 —

エイプでキック始動時の不安定電圧によるメーターの誤作動を防ぐ為に約1400RPM以下時の電圧(約9V)では表示の電源がONにならない仕組みを採用しております。(LED照明は点灯します)そのため、エンジンが始動してもアイドリング回転数が前記よりも低い場合や、消費電力の多い電装社外品を取付けていて、約1400RPM以上の回転数であっても電圧が低い場合は電源がOFFになります。そのような場合アイドルストップスクリュウでアイドリング回転数を上げてください。メーカーの指示回転数は1800RPMとなっております。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL(0721)25-1357 (代)
FAX(0721)24-5059

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
ホームページアドレス <http://www.takegawa.co.jp>

080701A-2